

ゆら早生 今年も上々の出来!!

ゆら早生は由良町で発見された宮川早生の枝替わり品種。糖度と酸味のバランスが良く、じょうのう膜が薄いのが特徴の極早生みかんです。糖度11度以上のもは紀州選果場オリジナルブランドの『ゆらっ子』として出荷し、市場から絶大な人気を集めています。



10/1 ゆら早生の目揃え会

10月1日、紀州選果場と由良集荷場にてゆら早生の目揃え会を開催し、部会員約150名が参加しました。JA職員からは営農情報や集荷計画等について説明があり、その後、参加者はサンプルを手に取りながら入念に出荷区分の確認を行いました。

NEWS& TOPICS



紀州選果場では10月7日から11月上旬にかけて選果を行い、東京や大阪を中心に全国の市場へ、前年よりも多い約700トンを出荷しました。今年産は夏場に雨が少なかったことで糖度が高く、『ゆらっ子』は出荷量の7～8割ほどと多くなりました。

10月16日は国消国産の日! 県内各地でイベントを開催!



JAグループは、国民が必要とし消費する食料は、できるかぎりその国で生産するという考え方の国消国産を推進しています。JAわかやまは10月16日の国消国産の日に合わせて県内各地で宣伝活動を行いました。

JAビルでは女性会による国消国産コラボイベントが開催されました。各地域の女性会による農産物の販売が行われ、紀州からは米、さつまいも、みかんなど地元で採れた旬の農産物や手芸、加工品の販売を行いました。また、サークル発表もあり、紀州地域からはみなべブロックのスコップ三味線サークルが出演しました。圧巻の演奏を披露し、観客からは大きな拍手が送られ会場は笑顔と活気に包まれました。

フレッシュマート、ほんまもんふるさと産地直売所、紀州花野果市でもイベントを開催し、副本部長がPR資材やゆら早生の配布を行い、国消国産を宣伝しました。他にも、粒選り米10kgなど豪華景品が当たる抽選会も実施し大盛況となりました。



サークル発表 スコップ三味線



ほんまもん



抽選会



女性会農産物販売



フレッシュマート



花野果市

9/21 泉大津まちなか万博 YN26をPR!!



9月21日、大阪府泉大津市のシーパsparkで開催された「まちなか万博」に、日高川町とともに出展し、極早生みかん「YN26」の消費宣伝を行いました。当日は、JA職員が参加し、「見た目は青いですが、甘くて美味しいみかんです！」と来場者の皆さまに声をかけながら、積極的にPRを行いました。会場は多くのお客様で賑わい、「YN26」はすぐに完売となるほど大変ご好評をいただきました。

10/8 女性会 ペタンク大会開催!!

10月8日、御坊総合運動公園にてJAわかやま女性会紀州地域本部ペタンク大会を開催し、59チーム・205人が参加しました。青空のもと、声援や歓声が響き渡る白熱した試合が繰り広げられ、競技を楽しみながら会員相互の親睦を深めていただきました。

結果は優勝が湯川C、準優勝がはまぼうC、3位が三百瀬、4位がひだかDとなりました。上位4チームは、11月に開催されたJAわかやまボッチャ大会へ出場し、紀州地域本部の代表として戦いました。



優勝 湯川C チーム



第2回「紀州フレンズ」10/13 ゆら早生収穫体験&フルーツサンド作り

10月13日、「紀州フレンズ」第2回目の企画として、日高川町内でゆら早生の収穫体験を行いました。当日は8人が参加し、農家さん・営農指導員からゆら早生の特徴や美味しいみかんの見分け方などの説明を受けた後、実際に収穫を行いました。その場で試食も行い、「甘くて美味しい!」と大好評!その後は和佐の農産物加工所にて、収穫したゆら早生を使ったフルーツサンド作りに挑戦し、花の模様にカットするなど見た目にこだわりながら楽しんで作っていただきました。



食農教育支援



JAでは、地域の子どもの食農教育を支援しています。営農指導員をはじめJAの職員、青年部員、女性会員などが協力し、お手伝いしています。また、この活動は、JA共済地域貢献活動に係る助成金を活用しています。

9/24 梅シロップ作り

印南小学校
家庭科クラブ16人



10/15 袋大根

ゆらこども園
13人



9/26 稲刈り・袋大根

ひまわりこども園
23人



10/6 芋ほり

川辺西小学校
3年生 42人



第3回講座 女性倶楽部 パール ～衣・食・住とセルフケアで自分らしく～

9月19日、御坊市立財部会館にて、relaxation salon MANINA(リラクゼーションサロン マニーナ)の山下先生を講師に迎え、「健康な身体づくり」をテーマにした講座を開催しました。当日は、水素水の紹介や、日常生活で簡単にできるストレッチ、自分に合った下着を選ぶことの大切さなど、幅広い内容について学びました。また、水素水の試飲や、むくみ解消に効果的な靴下の試着体験も実施し、参加者の皆さまには実際に体感しながら知識を深めていただきました。



第4回講座 女性大学 ヴィーナス 錦花堂4代目店主に教わる伝統ある天狗力餅、 季節を感じる手作り和菓子作りに挑戦！

10月14日、由良町公民館にて、明治20年創業の老舗和菓子店「錦花堂」の4代目店主・花岡孝司さんを講師に迎え、由良町の銘菓「天狗力餅」や、地元産のゆら早生みかんを使ったみかん大福、栗の甘露煮を包んだ和菓子作りに挑戦しました。花岡さんから、職人ならではの技術を丁寧に教えていただき、参加者はひとつひとつの工程に真剣に取り組みました。和菓子作りを通して、地域の食文化や伝統に触れる良い経験となりました。



パール & 粋 合同講座 丹波篠山黒枝豆 収穫体験！

10月17日、パールと粋の合同講座で、兵庫県丹波篠山の黒豆畑を訪れ、特産品である『丹波篠山黒枝豆』の収穫体験を行いました。当日は天候に恵まれ、爽やかな秋空のもと収穫を行い、参加者からは黒豆の実の大きさに驚きの声が上がると楽しんでいただけでした。その後、「ユートピアささやま」にて昼食をとり、最後にはJA丹波篠山の直売所「味土里館」で栗など秋の味覚を購入し、満喫していただきました。今回のイベントは、パールと粋の交流の場ともなり、充実した一日となりました。



10/10 年金友の会 日帰り旅行in大阪

年金友の会※は10月10日、大阪府にて日帰り旅行を実施し、103名が参加しました。はじめに、日本最大の温室を有する植物園「咲くやこの花館」を散策。館内では色とりどりの花々や珍しい熱帯植物をゆっくりと鑑賞し、和やかなひとときを過ごしました。その後、ヒルトン大阪のビュッフェレストラン「フォルグキッチン」にて昼食を楽しみ、最後になんばグランド花月にてよしもとの舞台を鑑賞しました。舞台では人気芸人による漫才や新喜劇が繰り広げられ、会場は笑いに包まれました。参加者からは「すごく良かった！」などの声が多く寄せられ、楽しい思い出となる一日となりました。

※年金友の会…紀州地域本部管内で年金を受給されている地域の皆様で構成される組織

フレッシュマート特産品直売所 からのお知らせ

優糖星 紀州地域本部管内で栽培された糖度8度以上の高糖度ミニトマト。

バック入りから贈答用の箱入りと用途に合わせた商品をご用意しています！

11月中旬頃より販売開始！

スターチス・かすみそう

販売中！

スターチスは紫、ピンク、黄など色とりどりの商品をかすみそうは白色を中心に生け花などにいかがでしょうか。

地元の農家さんが丹精込めて育てています。

JA共済 『国消国産』 秋のマルシェ

2025年11月22日(土)
時間 9:00～15:00
場所 Aコープかわべ(日高川町大字土生102-1)

限定300食

地元の新米・野菜を使った
カレーライスの無料振舞い

Aコープかわべ店による
果物・菓子・パンなど
野外市場開催！

産直部会による
野菜・果物・加工品販売

14:30～**なんでも まき**
お菓子・なんでも撒きます！

お問い合わせ
JAわかやま 紀州地域本部 組合員課
Tel. 0738-22-0604

わた菓子
フライドポテト
焼き鳥 おでん
焼き芋など
販売!!

日高川営農販売
センターによる
ピタタンコ大会
ピタタンコで
ゆらっ子ゲット!



うめ

梅園管理

●白紋羽病防除

・枯死した樹の根は掘り上げ、必ず園外へ搬出してください。

・定植時には苗木へフロンサイドSC 500倍液を1本当たり50～100 L 灌注します。

●新植・補植穴の準備（1穴当たり）

の土壌改良資材施用例

・苦土セルカ2号（2 kg）または苦土石灰（2 kg）

・ハイフミン（20 kg）またはアヅミン（2 kg）を土とよく混和

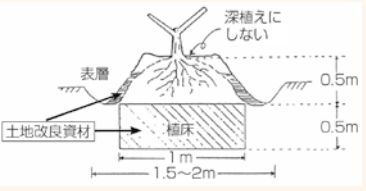
・肥料・梅一発（14・11・13）180日タイプ 1 kg／穴

●苗木の定植

・高うねにして植え付ける。

・接木部は必ず地上に出す。

・定植後は1本当たり20 Lの灌水を行う。



・排水不良園・水田転換園では、排水対策

明きよ・暗きよを設けて排水を改善してください。

●黒星病多発園対策

・12月中旬まで…石灰硫黄合剤10倍液を散布し、越冬病斑を減らす

※塩害で樹勢が弱っている園では使用を控える。

※花膨大期には葉害に注意

※作業時は防護眼鏡・手袋・カットパを必ず着用

・3月中…黒星病防除薬剤を散布

・4月中…スコア顆粒水溶剤を散布

●整枝・剪定の基本順序

1. 主枝（一番太い）の先端から行う。

2. 亜主枝・側枝も同様に行う。

3. 細かい部分にとらわれず、不要な太枝を優先的に間引く。

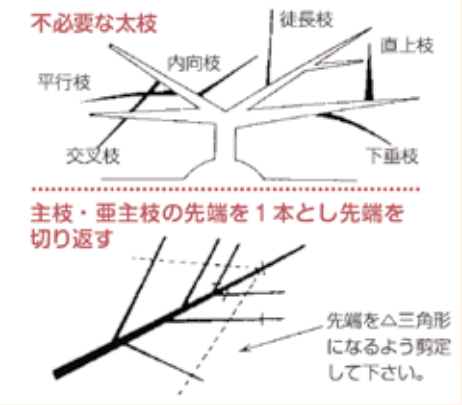
4. 主枝は2～3本、亜主枝はそれぞれ2～3本を目安にする。

●幼木～8年生（樹形づくり）

・開心自然型を基本として、主枝・亜主枝の確立を図りながら、枝の先端を下垂させない樹形づくりを行います。特に、同年枝（重枝）を整理し、枝の切り返しに努めます。

●成木（樹勢維持・高品質果実生産）

・樹間7～8 m、10 a 当たり16～20本を目指し密植を避ける。



主枝・亜主枝の先端は必ず切り返す。

側枝は3年以上経った枝は新しい緑枝へ更新。

●樹勢の弱い樹

・徒長枝の発生が少なく細枝が多い場合は、切り返し・切り戻しで若枝を更新。

・主枝・亜主枝は先端を切り戻し、細枝も2分の1程度に剪定して樹勢を回復させる。

果樹柑橘

●早生、中生温州の収穫

いよいよ本格的な収穫時期を迎えます。収穫時は果実を丁寧に扱い、ホドは低く切ってコンテナへは8分目程度に入れるなど、果実に負担をかけないようにしてください。腐敗果の混入は商品価値を損なうだけでなく、産地のイメージダウンにもつ

ながりますので家庭選別の際は気をつけて頂くようお願いいたします。

●カメムシの防除

秋口からカメムシの発生がやや多い状況です。発生が見られたら下記の防除を行ってください。

●腐敗防止剤の散布

今後の降雨次第ではさらに腐敗果が多くなることもありますので収穫前には必ず腐敗防止剤を散布してください。なお、散布後降雨が続くようであれば使用基準内で再散布してください。展着剤アビオンE（500倍）を加用すると腐敗防止効果や、ホド回りのクラッキング（輪回り）の軽減に効果があります。

※ベフラン液剤25は令和7年10月末以降使用できなくなりました。ベフラン液剤25の代わりにベルクート水和剤を使用してください。

●秋肥の施用

樹勢の維持・回復のため、かんき

カメムシの防除

薬剤	倍数	収穫前日数／使用回数	備考
スタークル／アルバリン顆粒水溶剤 又は テルスターフロアブル	2,000 倍 5,000 倍	前日／3 回 前日／3 回	腐敗防止剤に混用可

腐敗防止剤の散布

薬剤	倍数	収穫前日数／使用回数	備考
ベンレート水和剤 ベルクート水和剤	4,000 倍 2,000 倍	前日／4 回 前日／3 回	2 剤混用

つ施肥基準例を参考にを施用してください。冬期に入ると肥料の吸収効率が大幅に低下しますので、なるべく早く施用する事を心がけ、11月中旬頃までには秋肥の施用を行ってください。マルチ被覆園ではマルチを除去した後、速やかに化成肥料を施用してください。

●中晩柑の落果防止剤散布

マデックEWの使用方法（展着剤加用）

長期間樹に成らしておく越冬八朔などでは11月中下旬と、1月上旬の2回散布すると落果防止効果が高まります。

※注意 着色前および着色初期には、着色遅延の恐れがあるので使用しないでください。

●温州みかん花芽抑制による樹勢の維持について

中晩柑の落果防止剤マデックEW 散布

目的	使用時期	倍数	使用回数
後期落果防止	着色期～収穫 20日前まで	2,000倍 ～	2回
へた落ち防止	収穫開始予定日の 20～10日前	3,000倍	1回

ゆら早生など樹勢が弱く花が付き過ぎる品種や、着花させたくない幼木などで、冬場散布する夏マシンド油（アタックオイル）60～80倍にジベレリン液剤2.5ppm（2,000倍）を加用すると花芽抑制効果があります。樹勢が強いほど良く効きますので効き過ぎに注意し

てください。幼木にはマシンド油乳剤の代わりに展着剤スカッシュ（1,000倍）の方が樹の負担にならないのでオススメです。

※カイガラムシ類の防除を兼ねている場合はアタックオイル（60倍）にジベレリン液剤を加用し散布してください。

ジベレリン液剤

品種	温州みかん
使用目的	花芽抑制による樹勢の維持
使用時期	11月～1月 但し、収穫後
倍数	2.5ppm (2,000倍)
使用回数	1回
参考	アタックオイル60～80倍 液に加用

野菜

ミニトマト

地域差はありますが、コナジラミ類の発生が確認されていますので予防的な薬剤散布を中心に対策に講じてください。

●草勢管理

草勢が強い状態で低温期を迎えること品質低下や芯詰まりが発生する可能性があります。

その場合は、ハウス内の温度・湿度調整をこまめに行なう等、対策を講じてください。

また極端に草勢が強い場合は、側枝の利用や着花（果）調整により草勢調整してください。

摘花（果）については、草勢や花

の大きさに合わせて摘花（果）作業を進めてください。

特に10月、11月は草勢調整と今後品質管理にとって重要な時期になります。

●追肥

草勢を確認しながら穴肥を中心に施用してください。

●誘引作業

光を確保するために低温期の誘引角度はやや高めとし、着果位置を少しでも高い場所へ持つて来るよう調整してください。また葉や果実にしっかりと光が当たるように誘引間隔を広くしましょう。

●病害虫対策

○黄化葉巻対策

施設栽培では、交配用マルハナバチの飼養も始まっていますが、年内に再度薬剤散布を実施して予防対策に努めてください。

○葉かび病

ハウスを閉めだすと葉かび病の発生が心配されます。大発生してからでは止める事が難しくなります。摘葉や予防的な薬剤散布を中心に対応してください。

ピーマン

生育初期の草勢維持に努めてください。なるべく徒長させず、年明けまでに成長点を誘引の横線まで到達させ、節数を確保しておきましょう。

●追肥

マルチ被覆前にVSゆめ（9袋/10a）を施用してください。

●灌水

少量灌水で草勢の状態に合わせて間隔と量を調整してください。

●病害虫防除

加温機が稼働しハウス内の空気が乾燥するため、うどんこ病が発生しやすいとなります。硫黄くん煙器や置き型しなもんを設置し、予防防除に努めてください。

〔天敵導入園防除例〕

引き続き、アブラムシ類、ヨトウムシ類、クロテンコナカイガラムシの発生に注意してください。散布剤については営農指導員にお聞きください。

なお、クロテンコナカイガラムシについては、ハウス外の雑草に寄生し、ハウス内に侵入します。ハウス外の除草作業や薬剤散布に努めましょう。ハウス内で確認した場合、寄生した部位を除去し、袋等に入れハウス外へ搬出し処分してください。

展着剤は天敵導入時にアプローチB（200倍/5ml/散布液10L）、天敵定着後はドライバー（100倍/3000倍）を加用してください。

●保管管理

早めに二重被覆資材や、加温機のダクト等を準備しましょう。ハウス室温は、樹勢維持や秀品率向上のため、夜温は17℃以上（ハウス内温度で管理してください）。

キュウリ

9月定植の園地については、全体

的に温度を上げ果実の肥大を促してください。ハウス温度は、日中（9時～14時）は28～30℃を維持し、その後は徐々に下げ15℃になるようにしてください。

また、樹勢を見ながら摘芯、追肥を行ってください。芽の動きが鈍くなっているときは、摘芯を行いすぎると樹勢の回復に時間がかかるので注意してください。

11月定植の園地は、早い活着（主軸が一段太くなる）を促し、その後の生育がスムーズになるように地温20℃以上を保ち、定植直後に株元灌水し、その後も一週間で2～3日に一度は株元灌水を行ってください。湿度も80%を保つように通路も白く乾かないようにしてください。日中は28～30℃を維持し、夜間は18～20℃になるようにしてください。

よう菜類

ブロッコリー

●防除薬剤

出蕾時に降雨が多いと、病気（組織内べと病や黒腐れ病等）が発生しやすくなりますので注意してください。

※ダコニール1000とフォリオゴールドの使用回数は、合計2回以内

●追肥

花蕾が少し見え始めた頃に、NK化成等で10a当たり2袋程度施用してください。

●収穫

しまりの良い花蕾を選び収穫しましょう。収穫遅れにならないように

注意しましょう。

豆類

ハウスウスイ

灌水は、出来るだけ晴天の日の午前中に行ってください。畝間灌水は、加湿となり根痛みやべと病、さび病の発生に繋がりますので、灌水チューブを使用してください。

※空気蒸対策

空気蒸は、日中のハウス内温度を15℃以上に保つことにより軽減できます。そのため、寒い日は、早朝からハウスサイドを大きく換気せずハウス内温度の上昇を待ってから換気し、夕方早めに閉めハウス内の温度確保に努めてください。

但し、ハウスを閉め切る事で灰色かび病の発生が心配されます。定期的な薬剤散布を行うと共に、ブロー処理（風で花殻を吹き飛ばす処理）をするなどし、病気の発生を抑えてください。

キヌサヤ

風通しをよくし、光があたるように、不要な枝は草勢を見ながら早期に取り除いてください。

また、蔓下げをする場合は、一度に蔓を下すと極端に草勢が低下しますので、誘引紐を緩め自然に蔓の重みで下がる程度とってください。

なお、紀州さや美人は草勢が美笹より低下しやすい品種なので、追肥の感覚を短くこまめに施用してください。

例年気温が低下すると害虫の発生

は少なくなりますが、ハウス栽培においては露地よりも長引く可能性があります。発生に注意し適時防除を行ってください。

にんにく

側球分化後は月2回の畝間灌水を実施し、玉肥大の促進に努めてください。畝間に水がたまる圃場については排水対策を行ってください。

また、葉枯病対策としてジマンダイセン水和剤（400～500倍／収穫7日前まで／5回以内）を散布してください。

花き類全般



スターチス

薬剤散布の際、病原菌の株への侵入率を下げるため薬剤が切り口によくかかるよう、茎を高めに残して採花を行い、丁寧に散布を行ってください。

防除薬剤については、系統の異なる薬剤をローテーション散布することで薬剤抵抗性つかないよう注意してください。ヨトウムシ類以外にもアザミウマやアブラムシなどの害虫の発生が今後心配されるので早めの防除を行ってください。また、草勢に注意し追肥を行ってください。特に早生系品種は株疲れを起こしやすいので注意してください。

カスミソウ

開花時期の灌水は花首の伸びにつ

ながりますが、控えすぎると枝の充実や葉先焼け等、品質低下につながりますので灌水には十分に注意してください。

また、開花時期の蒸し込みは花首を伸ばすなどの品質の低下や開花遅れにもつながりますので日中は十分に換気してください。しかし、直接冷たい風が当たるとアントシアンの発生原因となりますので特に冷たい風の入りやすい北側の開閉に注意してください。

ロゼット防止、伸長促進、開花促進のため電照を行いますが開花時期まで電照を続けると花首の徒長や節間の徒長につながりますので生育ステージによって消灯してください。

スイートピー

草勢確保のために、脇芽や巻きひげが大きくなる前に整理を行ってください。また、草勢が安定してから花芽を残し、草勢を弱らせないように注意してください。

千両

もうすぐ採花のシーズンとなりますが、近年暖冬の傾向にあるため害虫による被害が多くなってきました。病害虫の発生には十分に注意し、必要に応じて防除を行ってください。

着色が始まれば計画的に採花し、実が落ちないように慎重に運搬、結束作業を行い、綺麗な水で水揚げを行ってください。